

大橋 雄太 (OHASHI Yuta)

研究員

博士 (農学)

1991年 北海道札幌市生まれ

2021年 千葉大学大学院 園芸学研究科 博士後期課程 修了

2021年 農研機構 農村工学研究部門

資源利用研究領域 地域資源利用・管理グループ



研究者の横顔

<子ども時代>

出身は北海道で家の周りに自然が沢山あったせいか、幼少期から昆虫、植物、動物等に興味を持っていました。夏は毎年クワガタ採集に行き、飼育や標本づくりを楽しんでいました。そのほか、釣りに行ったりサッカーをしたりと、休みの日は外で遊んでいることが多かったと記憶しています。冬はスキー場が近所にあったこともあり、毎年10回以上はスキーに行っていました。今でも毎年スキーに出かけますが、最近視界が悪い時やコブの斜面を滑ったときに車酔いのような症状が出ることもあり悩まされています (スキー酔い?)。このような症状が出る方いますか?

<研究>

学部生時代は植物病理学を専攻し、イネの細菌病を防除するための生物農薬の開発を行っておりました。大学院では作物の栽培技術への興味から施設園芸学を学びました。特に温室内の果菜類の受光体制に注目し、群落光合成量を増加させる作物の配置や密度について研究しておりました。

農工研では主に、優れた保温性能を持つ農業用被覆資材の開発を行っております。施設園芸で消費されているエネルギーの大部分は冬季の暖房由来であり、省エネのためには保温性能の高い被覆資材の開発が急務です。加えて、夏季は温室内が高温になりすぎるといった問題があるため、被覆資材の遮熱効果についても注目して研究を行っております。そのほか、センサー開発、蓄熱等にも興味があり、次回の科研費申請のテーマを現在模索しているところです。良い研究成果を出せるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



図1 霞ヶ浦のアメリカナマス

<趣味>

数年前から釣りに行くことにはまっており、月に数回は釣りに出かけています。昨年、アメリカナマスが霞ヶ浦で大量発生していると聞いて釣りに行ってきました。噂通り巨大なアメリカナマスが入り食いでした (図1)。引きが強く釣っているときは楽しいですが、在来種がほとんど見られない状況には色々と考えさせられました。そのほか、観葉植物の育成 (図2) やJリーグ観戦 (北海道コンサドーレ札幌) なども楽しんでおります。最近運動不足になっているため、今年こそは何かスポーツをやりたいですね。

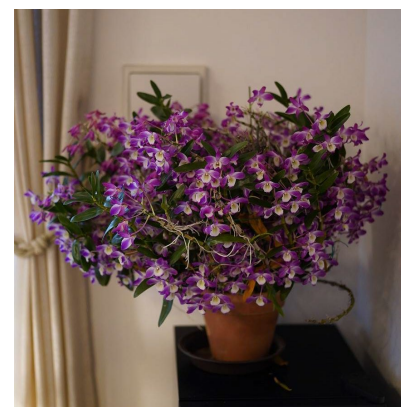


図2 11年目のデンドロビウム